

ピンチを乗り越えていく中小企業の経営戦略

新型コロナウイルス感染拡大により、社会全体が大きな転換期を迎えている中、第12回目となる「ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会」は、「ピンチを乗り越えていく中小企業の経営戦略」を2パートに分けてオンラインで開催します。

第1部の講演会は、儲ける企業体質への転換のため、早くから工場のデジタル化を進め、現在は中国地方で初の「ローカル5G」を導入し、更なる生産効率を追求するほか、高品質・高付加価値化を追求。常に「企業の変革」に取り組んでいる事例を、第2部の事例発表会では、新型コロナウイルスの感染拡大などの環境変化にも対応して新商品・新事業展開を行っている事例を紹介します。

各企業のビジネス展開を参考にさせていただきたく、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

- 日 時：令和2年11月26日（木）14：00～16：00
【講演会】第1部（14:05～15:05） 【事例発表会】第2部（15:15～16:00）
- 場 所：オンライン（ZOOM開催）（※PC端末と、インターネット環境が必要です）
- 招待URL：申込頂いた方に個別でメールにてご案内します
- 対象：組合及び組合員企業、賛助会員、ものづくり補助金採択企業等
- 定員：100名
- 参加費：無料

（第1部）

「IoT対応無人化工場の実現に向けて」

～社員と共に成長する、つぶれない会社づくり～

講師：株式会社ひびき精機 代表取締役 松山 英治 氏（山口県）

先代が造船部品加工を主力事業として個人創業した松山製作所が造船不況のあおりを受け倒産。その後、当社の前身となる（有）ひびき精機工作所として再出発し、独自の技術力を活かして半導体製造装置関連部品製造や航空宇宙関連部品製造に進出する等、品質に対する要求が厳しいクライアントからも当社の技術力は高い評価を得ています。

当社の大きな特徴としては、人材育成や作業・設備改善を継続的に実施していく体制と仕組みをつくるための「TPM活動」により、高付加価値化を進め、儲ける企業体質への転換に取り組んでいます。

加えて、高い生産効率を求め、20年以上前より、工場のデジタル化を進めています。現在では、次世代通信規格「5G」を地域限定で利用する「ローカル5G」を中国地方で初めて導入し、スマートファクトリーを目指す実証実験を行っています。

過去には「グッドカンパニー大賞」や「優秀経営者顕彰」を受賞しました。

働き方改革も進め、技術・技能伝承企業を目指して地元の新卒者を毎年雇用し、現在では社員約100名のうち、20代、30代が多くを占めています。

これまで積極的に設備投資を行い、機械加工設備など約50台の機械を保有する山口県内有数の切削加工会社へと、社員と共に成長してきた実話を紹介します。

（第2部）

○平岡工業株式会社（代表取締役 平岡 良介 氏）

自動車用ゴム金型の設計・製作と試作開発支援まで行うモノづくりサポートメーカー。クラウドファンディングサイト「makuake」にて、開始3時間で目標金額を達成するなど、一流デザイナーにも認められた、デザイン性の高い眼鏡型フェイスシールド「HIRAX AIR SHIELD」。自由な発想力と圧倒的開発スピードで、開発した秘話を紹介します。

○有限会社フルカワ（代表取締役 小川 國博 氏）

企業で発生するプラスチックの成型ロス品を回収原料に、再生プラスチック製造・販売、再生樹脂受託加工を行うものづくりサポート企業。「ものづくり補助金事業」を活用し、従来であれば廃棄処分されていたプラスチックを、高い技術で再生を可能とするリサイクルシステムを確立できたことを通して、持続可能な生産消費形態を確保する「SDGs」への取り組みについて紹介します。

※参加申込書は裏面にあります。

ものづくり連携倶楽部ひろしま 第12回講演会 参加申込書

申込日：令和2年 月 日

【参加申込欄】

企業名（組合名）				
業種				
参加者名	役職		氏名	
	E-mail	@		
	役職		氏名	
	E-mail	@		
電話番号				
質問事項				

※本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、本事業における本人確認、参加者名簿の作成、本事業に関する連絡、各種情報提供にのみ使用いたします。なお、当会では、お預かりした個人情報を適切に管理して参ります。

参加受付締切：令和2年11月10日（火）

（お申し込み）

メールアドレス：k-shozako@chuokai-hiroshima.or.jp

（お問い合わせ）

TEL：082-228-0926（広島県中小企業団体中央会 正迫、相良）

FAX：082-228-0925